

第2回ホメオパシー獣医専門コースの参加募集

JAHVS（統合医療獣医師の会）は2014年10月に第2回ホメオパシー獣医専門コースをスタートします。

英国ホメオパシー医学会（Faculty of Homeopathy*）認定

獣医ホメオパシー専門コース 全30日

【講義】イギリス人専門講師を招いての講義
（獣医領域に特化した専属通訳が担当します。）

- ・ 参加費：15万円／3日間 ×10モジュール（予定）
- ・ 定員： 20名（10人以上から開催します。）
- ・ 場所： 浜松町（予定、都内23区内）
- ・ 終了後、Faculty of Homeopathy LFHom（認定医）MFHom（専門医）の受験資格が得られます。
- ・ 日時**（モジュール1）：2014年10月21(火),22(水),23(木)

*) <http://www.facultyofhomeopathy.org>

**) 原則、3日間×10回。年に2～3回（不定期）

【資料】配布資料は全て日本語です。

- ・ 各モジュールに長文テキスト冊子配布
- ・ プレゼンマテリアル（ネット配信）



Sue Armstrong MA VetMB VetMFHom CertIAVH MRCVS RsHom

1984年にケンブリッジ大学獣医学部を卒業

1996年から英国ホメオパシー医学会会員で、現在は獣医専門医試験官の一人でもある。英国ホメオパシー獣医師会の前会長。British Holistic Veterinary Medicine Association の設立メンバー。カナダにある College of Animal Homeopathic Medicine (CAHM)校長。現在は **Balanced Being** を開業している。

主任講師はスー・アームストロング先生です。英国でホメオパシー専門動物病院を開業されており、アメリカ、カナダ、オーストラリア、北欧、日本、東欧、中東でホメオパシーを獣医師に教えています。

オルガノンを深く理解し、臨床に応用して癌の治療にもかなりの効果をあげています。豊富な臨床経験と治癒症例をもって、ホメオパシーの基礎から応用まで、理論と臨床をバランスよく教え、ビジュアルに工夫のあるわかりやすい楽しい講義には定評があります。

カリキュラムはコースの進行とともに、臨床での実践ができるように構成されており、ホメオパシーをこれから学ぶ方にとっては非常に有意義なコースです。また、既にホメオパシーを臨床で使っている方にとっては、理論（フィロソフィー）と臨床がきちんとリンクすることで、さらに、精度の高い治療につながります。

コースの内容は、英国ホメオパシー医学会(Faculty on Homeopathy)に認定されており、ホメオパシー専門獣医師に求められる知識が全て含まれています。日本で、日本語でこれほど充実した内容の体系化された獣医師の為のホメオパシーの講義を受けることが出来ることが一番の魅力です。

毎回、講義の後に懇親会および夕食など講師と参加者がともに過ごすことで親睦を深める機会を設けています。

コース終了後は、修了証をお渡しします（出席率80%以上で、宿題提出が条件）。

第2回 ホメオパシー専門コース カリキュラム (175講予定)

(フィロソフィー)

ホメオパシーの歴史	動物種、品種と体質
ハーネマン以後のホメオパシー	研究
オルガノン1～10	マヤズム1、2
ケントのレクチャー1～3	レメディ間の関係
レメディ	レメディ関係(慢性、不和な、解毒)
プルービング	LMポテンシー
マテリア・メディカ	2回目の処方
形態類似理論	プラセボ反応
レパートリーの紹介	水の記憶
急性病の概念	上級レパートリー
症例の診察〔症状とモダリティの重要性〕	レパートリーの用語
急性病(外科のためのレメディ)	レパートリー演習
体質と体質タイプ概念	癌と結核マヤズム
急性病(損傷、感染と敗血症の為のレメディ)	ワクチンと外科手術の問題
急性病(発熱と悪寒の為のレメディ)	病因としての喪失
妊娠、出産と新生児	ドレスデンからオルガノンまで
治癒を妨げるもの	常用中毒性の薬
慢性疾患の紹介	混乱する症例
症例考察の方法論	対立と四元素
アグラベーションと第1&第2反応	サンカランのマヤズム

(臨床応用)

痒い犬	肝臓
胃腸疾患	心臓と循環器

筋骨格系の外傷と疾患の治療

歯肉炎と口内炎

腎臓と尿路疾患

呼吸器疾患

中枢神経系と癲癇

雄の生殖器

内分泌系

目と耳

(レメディ)

鉍物 1-周期表、胆嚢と胃の症例

鉍物 2-基本的な元素と金属

カルシウムとその塩

周期表 2、3

希ガス

酸

ナトリウムと塩 1、2

マグネシウムとカリウム

炭素

カリウム塩

ストラモニウム

ハロゲン

バリタと其の塩

金

(臨床検討) 症例

群れの医療：乳房炎

慢性下痢

馬の疝痛と下痢

馬のクッシング、ワクチンと NWS

老齢の医療

癌

馬の皮膚症状

プラチナ

錫

ゲルセミウム

ランサノイド

植物レメディ 1～10

腸ノゾ 1、2

主なノゾ

臓器とドレナージレメディ

モネラ：ウイルスレメディ

海のレメディ

ヘビのレメディ

乳のレメディ

クモのレメディ

以上

参加方法

参加ご希望の方は、

- (1) 後述のエントリーシートご記入の上 FAX/e-mail
- (2) 15万円（モジュール1参加費）を次の口座にお振り込み下さい。
- (3) ご入金を確認後お申込み受付完了となります。
- (4) 北洋銀行 神楽支店 普通0068216
HPTG 代表 小関ユミ

申し込み締め切り：2014年8月30日

更に詳しい情報をご希望の方は、

JAHVS 事務局 小関または鈴木までご連絡下さい。

E-mail: secretary@jahvs.org

小関ユミ（TEL：0166-63-1299, FAX：0166-63-3698）

鈴木つば美（TEL：075-952-7772, FAX：075-952-7775）

なお、JAHVS の HP <http://jahvs.org> にアクセスしていただき
エントリーシートに記入送信していただいても構いません。

第2回ホメオパシー獣医専門コース
参加申し込み／エントリーシート
FAX : 0166-63-3698 または 075-952-7775 まで

お名前

(ふりがな)

ご住所

電話番号

Fax 番号

携帯番号

メールアドレス

出身大学

卒業年度

臨床経験年数

勤務先

勤務先の住所

ホメオパシーコースを受講しようと考えた理由

ご要望

統合医療獣医師の会

この会は、西洋医学的手法だけでなく、東洋医学や代替医療など、あらゆる治療法を組み合わせる慢性病の治癒に取り組む獣医師の会です。

目的

本会は、統合医療を実践していこうという獣医師を中心として、構造医学系、人医学系、薬学系、看護系などの有資格者と、お互いに広く意見交換し、相互の知識を広め、獣医医療の質を向上し、結果的に動物と飼い主の健康に寄与し、さらに科学の発展に貢献することを究極の目的とするものです。

会の説明

癌、アトピー・アレルギーなどの免疫疾患、関節炎、神経系疾患などの慢性病は、西洋医学だけではなかなか治らないことを痛感した獣医師たちが、東洋医学や代替医学などを組み合わせた統合的な医療によって、これらの病気の治癒に挑んでいます。そんな獣医師の会です。

現在の基本的な活動は、年2回開催される定例会において、栄養療法や、ホモトキシコロジー、オゾン療法、ホメオパシー、理学療法などなどの実績をもとにした勉強会、意見交換を行っています。

今後の活動として、定例会を年数回開催し、各分野における系統的な勉強会を行い、会員の知識を広めていく予定です。当面の内容としましては、栄養療法（オーソモレキュラー）、栄養点滴療法、ホメオパシーです。

会員は原則として獣医師に限っていますが、会員獣医師の推薦があれば、動物看護師や、医療関連分野の医師、薬剤師、歯科医師、看護師も参加できます。（JAHVS 事務局：secretary@jahvs.org 小関・鈴木）